

3

Sue and Johnsy's room was on the third floor in an old apartment building, located west of Washington Square.

The two were young women dreaming of becoming artists, and it had been half a year since they rented their room there.

One morning, Johnsy was looking outside the window, lying in her bed.

Ever since she has come down with pneumonia, which began to spread across the town, she had been completely discouraged.



5

"Unfortunately, there's only a slim chance for her to survive."

The doctor was talking to Sue outside the room after his visit.

"Most importantly, she has no will to live. If she goes on like this, no matter how good the medicine, it won't work. Doesn't she have anything she wants to do?"

"Come to think of it, Johnsy said she wanted to draw the Gulf of Naples in Italy."

"I see...anyway, it's up to her will whether she can overcome her illness or not."



スーと ジョンジーの すむ へやは、
ワシントンひろばの にしに ある、
ふるい アパートの さんかいに ありました。

ふたりは がかを めざす わかい じょせいで、
ここに へやを かりてから、はんとしが たっていました。

そのひの あさ、ジョンジーは ベッドに よこになったまま、
まどごしに そとを みていました。

かのじょは このところ まちで はやりだした
はいえんに かかり、すっかり きをおとしていました。



「ざんねんだが、あの むすめさんが たすかる みこみは、
ほとんど ないね」

おうしんに きた いしゃが、
へやの そとで スーと はなしを していました。

「なにより ほんにんが、いきる きりよくを うしなっている。
あれじゃあ どんなに いい くすりも きかん。
あの むすめさんには、なにか やりたいことなどは
ないのか？」

「たしか ジョンジーは、イタリアの ナポリわんの えを
かきたいと っていました」

「そうか・・まあ とにかく、かのじよの びょうきが
なおるかどうかは、その きもちしだい というしか ないな」

